

# 鷹の台駅前整備はロータリーに限定せず 見直しを求めることについて

小平市は、鷹の台駅周辺の安全性や利便性の向上を図るなどの目的で、ロータリー設置を中心とする整備事業を進めています。しかし、この事業には、多くの問題があり、目的の実現には疑問があります。当会で代替案を検討した結果、より良い提案の可能性が多く残されているのではないかと結論に至りました。事業を一旦停止し、事業課題解決のための問題点と代替案の検討を求めます。樹木の伐採・移植は 11 月開始予定で、ロータリー工事の開始は、来年4月以降です。

## 1 事業の問題点

### (1)基本方針との矛盾(その1) 交通結節点の機能

市は、事業の考え方(基本方針)を交通結節点と都市の広場の機能を向上させることと説明してきました。しかし、交通結節点機能については、当会の代替案を含めて、よりよい案を検討できる可能性があります。市は、警察との協議をしていません。

### (2)基本方針との矛盾(その2) 都市の広場の機能

事業により、現状の樹木は伐採・移植され、広場が大幅に縮小します。駅前のにぎわいをつくり出す機能や景観を大幅に損ね、都市の広場機能を大幅に低下させます。

### (3)停車枠を設ける弊害

事業では、本線にタクシーと福祉車両用の停車枠(白線表示の枠)を設けます。タクシーと福祉車両の現在の利用状況は、タクシーでは一日5台程度、障害者関係事務所の送迎用車両では、鷹の台駅を利用しません。そのため、この2つの停車枠は、ほとんど利用されないこととなります。停車枠を設けなければ、一般車両も停車スペースを有効に利用でき、しかも、タクシーと福祉車両の利用にも不都合は生じません。停車枠を設けない案を、市が警察と検討した形跡はありません。

### (4)障害のある方や高齢者への配慮などについて

事業では、乗降場所に当初屋根の設置予定がなく、屋根を設置する場合、本線とロータリーの2か所となり、横断歩道部分は屋根を付けられません。障害のある方や高齢者の方への配慮と、予算の有効利用の点で、大きな課題です。効率的かつ効果的に屋根を設置するためには、屋根設置を前提とし、設置箇所を本線の 1 か所に絞った計画案を検討する必要があります。

### (5)予算の有効利用

当会は、前項(4)までの問題を踏まえ、代替案を作成しました。代替案では、舗装面積が少なく、樹木の伐採・移植費用も節約されるため、市のロータリー案よりも安価となります。

## 2 当会の代替案

2例あります。2例とも、ロータリーは設置しません。

1 例目はATM前の直線道を延長し、そこに公共交通用車両のスペースを確保します。その後ろに一般車両、タクシー、福祉車両などが停車出来るスペースをつくります。

現在、ATM 前の直線の道は約25メートルあります。線形を修正すれば、35メートル程度に延長できると考えています。

また、タクシーと福祉車両枠は設けません。したがって、ここでの停車はどの車も空いていれば、そのスペースに停

車することができます。

2例目は本道の脇に駐車スペースをつくれます。公道ではありません。したがって市が管理することになります。

どちらも、市の事業よりも停車可能スペースを多くとれ、都市の広場機能も損ねることなく、さらには予算も縮減できます。また、乗降場所が本線に集約されるため、屋根の設置が効率的で、障害のある方や高齢の方などへの配慮もされています。こうした可能性のある案を検討する余地が残されているにもかかわらず、多くの課題を抱えたロータリー案で事業を進めるべきではないと考えます。

以上の理由から、次の事項についてお願いいたします。

- 1 現在行われている鷹の台駅前広場整備事業は、一旦、停止すること。
- 2 当会の代替案に含まれる要素を考慮して、事業を再検討し、その結果を公表すること。

紹介議員 橋本久雄 水口かずえ

令和3年 11月16日

請願者 住 所: 小平市上水新町2-6-8  
団体名: 鷹の台駅前広場を考える会  
氏 名: 代表 リー智子  
電話番号: 080-5019-0153

小平市議会議長 殿

署 名 簿

氏名	住所

※ 自筆で記入すれば捺印は不要です。代理署名の場合は押印が必要です。  
署名は、国籍、年齢、住所地に関係なく、どなたでもできます。  
住所は、省略しないで正確にご記入ください。住所を同じにする方が複数人いらしても、各人ごとに住所を記入ください。「同上」や「〃」は、使用できません。無効になります。